

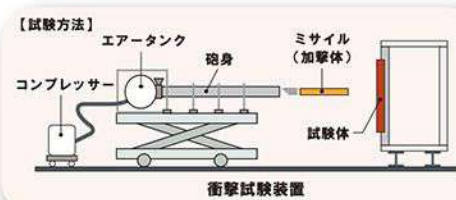
人と地球を守る安全性。

飛来物から建物内の人々を守る

飛来物に対する耐衝撃性に優れており、(株)風工学研究所^{※1}の報告でも『消防署、警察署、病院、避難所などの緊急時に地域の安全を守る使命をもつ公共建築物では、金属系サイディングかこれ以上の耐衝撃性能をもつ外壁を使用することが望ましい』とされています。

■耐衝撃性能^{※2}

他の外壁材ではミサイルレベルDで加撃体が室内側まで貫通、または裏面側の破壊が見られましたが、アイジーヴァンドはミサイルレベルEでも貫通が見られませんでした。



【試験結果】

加撃体	ミサイルレベル	B	C	D	E
	質量	0.91kg	2.05kg	4.1kg	4.1kg
速度	15m/s	12m/s	15m/s	24m/s	
想定 藤田スケール ^{※3※4}	想定風速	—	17~32m/s (約15秒間の平均)	33~49m/s (約10秒間の平均)	50~69m/s (約7秒間の平均)
	想定される被害	—	テレビのアンテナなどの 弱い構造物が倒れる。	屋根瓦が飛び、 窓ガラスが割れる。	住宅の屋根がはぎとられ、 弱い建物は倒壊する
アイジーヴァンド 35mm	一般部	—	—	○	○
	かん合部	—	—	○	○



※1 (株)風工学研究所 平成23年度建築基準整備促進事業「風圧力、耐風圧設計等に関する基準の合理化に資する検討報告書」より引用。

※2 試験結果は性能を保証するものではありません。

※3 想定藤田スケールは国土交通省気象庁のホームページより引用。

※4 ミサイルレベルと想定藤田スケールの関係は国土交通省総合技術開発プロジェクト「災害拠点建築物の機能継続技術の開発」にて設定。

